

掛川市立総合病院・看護部教育委員会

# nurse cap ナースキャップ

教育だより  
No.40

平成16年 8月31日



基礎Ⅲ

H16.7.22~23  
三ヶ日青年の家

## 苦しんだ後の笑顔 船は沈まなかった!

宿泊研修を通して  
学んだこと

5東 内藤聡美

今回の研修で、私は、集団の中で自分を直す事ができた。メンバーシップ、リーダーシップという研修目標を意識し、サイクリングやカッター訓練を行ってみると、いかに自分本位なのかを実感した。メンバーシップ、リーダーシップが成立するためには、メンバーをよく知り、適正に合った役割を見つける事が大切で、良い人間関係が土台になくはならないと感じた。一人ではできない役割は、自分から声を出し協力を依頼する事が大切だと思った。そのためにも、自分本位ではなく相手を受け入れる、また自分も受け入れられるような努力を心掛けたい。人の意見や問い掛けにしっかりと反応を示す、声をかけられなくても困っている人や助けが必要な事に気づき行動できるようにしていきたい。メンバーシップイコールリーダーシップである。リーダーシップがとれない人はいないと思う。そこですは自分にできる事、メンバーシップを發揮していきたい。

# 基礎 I

# リフレッシュ研修

H16.7.13  
in  
つくし会館

## 基礎 ・ リフレッシュ研修を終えて

担当者 腎センター 榎葉ちえ子

**四** 月に入職した一年生も、早や三ヶ月が過ぎました。緊張と不安で心身共に疲れているこの時期、毎年リフレッシュ研修が行われます。

今年七月十三日(火)市内つくし会館で行いました。研修目標は、「不安を一人で抱え込まないで笑顔で勤務

できる」です。始めに、レクリエーションとして百人一首を行いました。楽しそうに参加している様子が見られホッとしました。グループワークでは、皆同じように悩んでいることが解り、少しでも気持が楽になってもらえたら、この研修は成功だったと思います。



## 同期の大切さ

学習者 5西 鈴井幸子

### 就

職してもうすぐ四ヶ月が経とうとしていて、自分の中で憧れていた看護師さんと、現実の自分を照らし合わせた時にすごいギャップを感じ、命の重み、責任に、この職を続けていけるのかという不安がありました。でも四ヶ月ぶりに皆に会ってみると皆同じ思いで、不安なのは自分だけじゃないのだと勇気づけられました。と同時に同期の大切さを感じました。

## 基礎 II 宿・泊・研・修

H16.5.12 ~ 13  
浜名湖サンビーチにて

4東 福井彩乃

一泊研修を終えて、心に雲がかかっていたのが、今は太陽の日差しが差し込んできているような感じです。普段集まることのできない同期の人達とのグループワークでは、皆の今の気持ちを聞くことができ、自分の思っていることと同じだと共感しました。又自分の思いを聞いてもらうことで自分自身を見つけることができ、他の人の意見を聞くことで自分と違った視点での捉え方を知り、一人一人の成長を促しているような感じがありました。

研修のメインである「自分の



できた!!



やりたい事を見つける」ということに、私は漠然としたものしか持っていない不安と悩みで気持ちまで曇りがかかっていました。どうしていいかわからないのかを自分一人で考えるよりも、グループで話し合い、教育委員からもアドバイスをもらうことで、こういうやり方で関わっていく方法もあると新たな道を見つけれました。これから頑張っ取り組んでいこうという前向きな姿勢になることができた実感しています。

ちよつとホツとするほなし

### 十年以上の歴史

## 病院華道部



手術室 山本見奈子

病院に華道クラブがある事を知っていますか。現在実動部員は7名と少ないですが、2か月に一度活動しています。私達を御指導して下さるのは「堀内紫香先生」です。もう十年以上お世話になっていきます。とても気さくに話しのできる優しい先生です。私が華道クラブに入部して、もう十年はたつように思います。それまで華道は未経験でした。仕事や子育てに追われながらも、やってみなという思いから、病院でなら仕事の後で気軽に参加出来そうと考え始めたように思います。お花を生けながらうれしく思うのは、季節を先取り出来る事。まだ肌寒い頃には春を感じるチューリップや菜の花を、猛暑の続く夏には涼しさを届けるパンパスヤリんどうの花、そして年の瀬にはお正月のお花を生けます。

名前を初めて知る花や小枝もあり、手にした花の形や枝のし

なりを眺めて一番美しいと思うように、自分流に生けていくのは楽しいです。最近少しは上達したかなと自分を誉める時もあります。先生に手直しされると見違える程輝きます。お花が好きな方、ちよつと興味がある方いつでも歓迎いたします。一緒にお花を生けてみませんか。



左から、平尾さん、部長の山本さん、堀内先生

# トピックス

研修会めじろおし

6/22 (火)

院内感染対策セミナー  
県西部浜松医療センター  
矢野邦夫先生

6/2 (水)

固定チームリーダー研修  
杉野元子先生

7/21 (水)

ころばぬ先の転倒防止  
松沼瑠美子先生

7/13 (火)

みんなで取り組む  
事故防止  
川村 旭先生



# がんばっています 訪問看護室



笑顔の素敵な  
河本NS

## 訪問看護室 河本万喜世

訪問看護は、在宅療養者と介護者が望む生き方や生活ができるよう、援助することだと思います。人の生き方は、十人十色で、それぞれに味があります。在宅療養者や介護者の主体性、個性を尊重しつつ、看護を展開することが、私たち訪問看護師に求められています。病院や施設ですごされる方もあります。二年間の訪問を振り返ると、在宅療養が続けられる方々は、最後まで素敵な表情をされていたということです。介護の大変さは、私達の勤務のように時間で終わらないことです。訪問時介護者の労をねぎらい、介護の苦労話をお伺いし、介護を続けていた

いています。在宅の方々から学ぶことも多く療養者や介護者に感謝しています。「生あるものは必ず滅びる」のは自然の理です。在宅で最後を迎えられる方もいらっします。そんな時は、主治医が休日や夜間でも往診してくださいました。ご家族だけでなく、私たち看護師も心強く、往診していただける先生方には感謝しています。これからも、惜しまれて終わる、そんな在宅での援助をしていきたいと思ひます。



松永NS、ご家族と処置中

# 退院支援 はみんなのつながり

地域連携室 石山久子  
皆さん、こんにちは地域連携室です。  
平成15年4月に開設され、岩本室長ほか6名のスタッフで次のような業務を行っております。

- ① 病診連携業務
- ② 介護保険サービス提供関連業務
- ③ 医療・福祉に関する相談業務
- ④ 主治医意見書の受付処理
- ⑤ 医療に関する苦情の受付 等です。

高齢社会の到来、核家族化が進む中で老介護や高齢者の一人暮らしなど介護を必要とするお年寄りが増えています。多くの入院患者様、家族様は退院にあたり入院以上に今後の療養生活や介護に不安や戸惑いを感じていることと思ひます。

担当看護師または師長より病状が安定し退院の目途がたつたが家族の状況により在宅での介護が困難、何かの援助があれば家に帰りたい、このような時医療相談へ依頼していただければ退院後の生活について相談させていただきます。退院までに何回か病棟訪問し状態をお聞きし地域(病院、施設)と連携をとり、ひとりひとりの患者様の生活を、どのように誰と支えていくか、医療、看護の情報が介護サービスにつながるよう支援していきたいと思ひます。あなたのケアマネは誰?と聞き、支援体制を整えば、「病院から追い出された」ではなく在宅へ安心して退院できるのではないのでしょうか。

患者様へ継続されたケアの提供を目指し情報交換をしましょう。



## 編集後記

子供のソフトボール全国大会で滋賀県守山市へ行ってきました。猛暑の中子供達の大汗をかきながらのプレーに大声援を送りました。結果は全国でベスト16に入りました。娘の成長した活躍ぶりに感動した3日間でした。とてもいい夏休みでした。  
今年度から編集委員となりました。よろしくお願ひします。

(萩原)